

人権

～みんなが
幸せになるために～
益城町人権・同和教育推進協議会

Vol.533 「こどもまんなか益城町」

未 来を担う子ども・若者が尊重され、健やかに育ち、活躍する。そして安心して子育てができるまちづくり。益城町はその実現のため、「こどもまんなか益城町」という基本理念を掲げています。この理念に基づき、町の保育所や幼稚園などでも、子どもの人権を尊重し、子どもたちの健やかな成長を図るために、さまざまな取り組みを進めています。

子どもたちの声に耳を傾けることもその一つです。例えば、保育の活動や遊びを決めるときには、「今日は何をしたい遊びたい?」と尋ねます。そうすることにより、子どもたちは自分の思いが大切にされていると感じ、安心感を持つと同時に自分で決めることの大切さを学びます。また、着替えやトイレなど、子どものプライ

バシーを守るために、個室などを活用し、子どもたちが安心して過ごせる空間を用意しています。これは、「自分のことも他者のことも大切にしたい」という気持ちを育みます。

このように、子ども一人ひとりの人権を尊重し、寄り添い、適切なサポートを行うことは、子どもたちのそれぞれの個性や才能を存分に伸ばし、安心感、信頼感、自己肯定感を育むことにつながります。そして、保護者にも安心感を与え、結果として子育てしやすいまちづくりにもつながっていくのです。

子どもの人権を尊重するという事は、単に保護するだけでなく、一人の人間として認め、それを示すことです。子どもたちがいつでも笑顔でいられるよう、子ども一人ひとりの人権に対し、しっかりと向き合っていきたいものです。

人権についての電話による相談窓口（平日のみ）

- いじめについて
益城町いじめ電話相談 ☎ 286-1770
- さまざまな人権問題
益城町福祉課人権対策係 ☎ 289-1400

同和教育、障がい者・女性・子どもの人権問題、人権に関する法律相談など、各種人権に関する相談窓口は、町ホームページ「人権についての電話による相談窓口」をご確認ください。



防災行政無線

防災行政無線で放送された内容が電話で確認できます。
自動応答電話 ☎ 286-0888

安全×安心

◆かしこい消費者 災害に便乗した悪質商法に注意!

地震や大雨などの災害の発生後には、それに便乗した悪質商法が多発します。全国の消費生活センターには、家屋の修理内容や修理代金に伴うトラブル、保険金を口実にした勧誘によるトラブルなど、多くの相談が寄せられています。また、災害発生地域だけが悪質商法に狙われるとは限りません。全国各地で、寄付金や義援金を装った詐欺も多数報告されています。このような勧誘を受けても、その場では決して契約や判断をせず、複数業者から見積もりを取る、家族や友人に相談するなど、慎重に行動しましょう。

■困った時はすぐに相談
・熊本県消費生活センター
☎ 3833・0999
・消費生活相談室
本紙裏面カレンダーをご確認ください。



図 御船警察署 ☎ 282・11110
消費生活相談室 ☎ 286・3210

事故・犯罪区分	8月中	累計
人身事故	3	39
物損事故	106	620
空き巣	0	2
自販機狙い	0	0
万引き	1	12
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	2
車上狙い	0	2

◆防火と救急 その通報、本当に緊急ですか?

救急車の出動件数は増加の一途。高齢化の進展などを背景に、今後さらなる増加が見込まれています。その増加に伴い、救急車が現場に到着するまでの所要時間も伸びています。一刻を争う事故や急病が発生した際に、救急隊の到着が遅れると、救える命も救えない事態を招く恐れがあります。実際に、救急車で運ばれた人のうち、医師の診察により軽傷と判断された人の割合は全体の約半数を占めています。地域の限られた救急車を有効活用し、緊急性の高い人の命を救うためにも、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

■救急車を呼ぶか判断に困ったら
・救急安心センター(15歳以上)
☎ 7119 または
03・6456・3290
・県子ども医療電話相談
☎ 8000 または
364・9999



図 益城西原消防署 ☎ 286・2119

発生区分	8月中	累計
建物	0	6
車両	1	1
林野	0	0
その他	1	1
警戒出動	1	14
救急出動	174	1,258
救助出動	0	6

益城の文芸

投稿は①氏名(ペンネームの場合はふりがなも)②住所③電話番号④作品を明記し、

メール(mashiki890@gmail.com)、はがきで役場広報係に送ってください。締切は毎月10日(必着)。

短歌

ゆうづつは飛機の点滅と西空に一瞬重なりひとときわ放つ 安永 守住 孝子
末武師短歌の導きたまわりし穏しき人柄 惣領 島田 廣子
朝風の鏡の海に雲がわきバチターブルに心は染まる 木山 赤城 香織
散歩道夏草の陰で虫の声処暑過ぎて秋待ちわびる 広崎 日野ヒロ子
城址をたずねて涼し森なかの落葉のうえを白猫歩む 惣領 垣野 幸一
大手ふり帰っていく孫東京へ雲間にのぞく夕日背に受け 広崎 大原 郁
一人だけ金婚式も乙なもの幸せ感じまだまだ元気 馬水 増田 訓子
週一の麻雀教室待ちわびて老いを忘れしカタルの集い 惣領 清水 宏
終戦日黙禱の声流れ来る街行く人は足を止めたる 惣領 甲斐 道夫
熱中症気を付けてねと息子から嬉しく思い笑顔で過ごす 広崎 辻 恵美子
雨戸しめ蚊帳に果籠る若夫婦雷鳴しきり粹ないたずら 馬水 増岡 伸禧

俳句川柳 小春選

秋の雲岬の草履の跡ならむ 古閑 今村 恒心
休暇果つ座敷におもちや残されて 木山 鎌田 隆子
夏行くや胸に広がる大花火 安永 福山 友子
朝もやの狭庭しきりに虫すだく 惣領 阪口由美子
赤牛に水場涼しき阿蘇原野 馬水 増田 訓子
ラジオ体操仲間と流す汗清し 惣領 野々口トミニ
蝉時雨広報で知る師の訃報 木山 本田 龍子
退院日軒の雀に迎へられ 小池 滝川美智子
かき氷進まぬ筆を放り出し 広崎 大原 郁
町広報届くふためき句を捻る 惣領 野宮 逸吉
病み上がり犬と一緒に足馴らし 馬水 増岡 伸禧